

連絡報第一九二號

擔任 事務官

昭和二十一年十月二十三日
總務課

情報

配布先

局長・局附・總務部長・總務課長・總務班・復員班
連絡班・資料課・文書課・業務部・經理部・史實部
連絡部・終通庫學課・日比谷分室

制限

降伏文書配布の件

左記降伏文書を参考の爲配布する今後に於ても各地の降伏文書にして復員局で入手したものは逐次配布する豫定である

左記

一、ミズリー艦上に於ける降伏文書、英文及譯文

二、昭和二十年九月九日附 及何應欽間の降伏文書、華文及譯文

文

三、一九四五年九月七日附 及米第十章

間の降伏文書、英文及譯文

四一九四五年九月九日附

及臺灣軍司令

官間の降伏文書 英文及譯文

五一九四五年九月八日附

及米國太平洋艦隊司令長官並にマ

シヤル・ギルバート方面司令代理間の降伏文書 英文及日本文

Emperor
Imperial
set forth
ments of
ly 1945,
of
ereafter

to the
quarters
as under

situate
with
t, and
require-
for the
ment at

Head-
of all
l-
selves

offi-
and
llied
l issu-
such
to
ly

se
d to
e
sars
ied
s-

ment
nce
for
ans-

第一軍司令部（假譯）

一九四五年九月七日

降伏

下記署名の日本軍司令官は一九四五年九月二日横濱に於ける日本帝國政府の降伏に従ひ此處に於て以下の境界を以て琉球諸島の無條件降伏を致すものなり

北緯 30°	北緯 24°	北緯 30°	北緯 29°	北緯 24°
東經 131°30'	東經 113°	東經 126°	東經 131°	東經 122°
	より		原點	まで



中將
少將
海軍少將

咲島群島日本陸軍司令官
奄美群島日本陸軍司令官
奄美群島日本海軍司令官

受領

T W ステイウエル大將

合衆國